

大賞

狩野 弘江

「あなた」

あなた

結婚以来外したことがなかった左手薬指の指輪を二個、外しちゃった。

先日の朝、目が覚めたら左手がこわばる、特に薬指を曲げると痛い。

整形外科で診てもらったら、

「レントゲンをとりますから、その指輪を外してください」と。

でもね、関節やら指先やらがすっかり太くなっていて、

とても抜ける状態じゃないの。

すると先生は「消防署へ行って切り取ってもらおうといいですよ」ですって。

消防署？と腑に落ちないけど行って相談したら、

簡単に切断して取り外してくれたのよ。

翌日、レントゲンを撮ってもらったら、軽い腱鞘炎ですって。

外したとたん、軽くなった感じ。

コレって、はずし時だった？

貴方の結婚指輪は結婚式の直後、「男が指輪をするのはおかしい」と、

すぐに外してしまって、そのまま引き出しにしまいっ放しだったわね。

だから貴方が亡くなった後すぐに、貴金属屋でお金に代えたのよ。

だから私のもそうしようかな。

結婚する時にお金を貯めて買ってくれた二個の指輪。

ずーっと外したことがなかったのに。

もうこの薬指に指輪がはまることは無いわねえ。

私たちの同級生の園子ちゃんが、貴方がいつも私のことを

見守ってくれているというけれど、そんなこと無いわよね。

貴方は風になって遠くへ飛んで行っている。それでいいのよ。

そのうち神様は私を呼んで、やはり風にして下さるから。

それまでもう少しこちらで頑張るわ。一人暮らしに慣れたことだし。

(本当に頑張っているんだから)

一人だけで引っ越してきた小さなアパート。

「ただいま」「お帰り」はもう死語。

でも耳朶に残るあなたの声。

今日はどこへ飛んで行ってるの？